

令和5年度第1回

札幌市動物愛護管理推進協議会

議 事 録

日 時：2023年7月13日（木）午後7時開会
場 所：WEST19 2階 大会議室

1. 開 会

○事務局（千葉動物管理センター所長） 定刻となりましたので、ただいまより令和5年度第1回動物愛護管理推進協議会を開催させていただきます。

私は、本協議会の事務局を務めます札幌市動物管理センター所長の千葉でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、コロナが収束したような、しないような、5類になったところではありますけれども、マスクについては着用自由となっておりますことをお伝えさせていただきます。

それでは、会議の開催に当たりまして、吉津生活衛生担当部長からご挨拶を申し上げます。

○吉津生活衛生担当部長 札幌市保健所生活衛生担当部長の吉津でございます。

開会に当たりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃より、札幌市の動物愛護管理行政に多大なご協力、ご理解をいただいております。誠にありがとうございます。

この協議会ですが、対面で行うのが令和2年度以来で久しぶりということになります。コロナの影響もございましたが、ようやく日常が戻ってきたかなという思いであります。

本日の協議会の内容でございますけれども、報告が1件、議事が1件となっております。

報告事項につきましては、新しいセンターの概要についてです。今のところ、建築工事が順調に進んでおりますけれども、その状況や概要につきましてご説明申し上げます。

議事につきましては、新センターの愛称の選定になります。

先月、6月1日から30日までの1か月間、愛称の募集をしたところ、471件という非常に多くの応募をいただきました。その中から内部で10件まで絞らせていただいておりますが、本日、委員の皆様とともに、市民の皆様から愛着を持っていただけるような愛称を選定していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、以上、ご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（千葉動物管理センター所長） 続きまして、議題に移ります前に、お手元にお配りした資料を確認させていただきます。

次第、出席者名簿、座席表、報告資料、それから、協議資料として、愛称選定について、また、後で投票していただきますけれども、投票用紙が幾つかございます。また、一番最後になろうかと思っておりますけれども、部長から話をしましたとおり、私どもなりに選ばせていただきました愛称候補10作品のリストをお配りさせていただいております。

お手元に一式おそろいになっておりますでしょうか。

本日は、中川委員、佐々木委員、中谷委員がご欠席となりますけれども、過半数の出席をいただいておりますので、札幌市動物の愛護及び管理に関する条例施行規則第17条の規定により、本日の会議は成立することをご報告申し上げます。

また、本会議は非公開としておりますけれども、議事録作成のために録音、録画をして

おりますので、あらかじめご了承ください。よろしくお願いいたします。

それでは、議題に移らせていただきますが、この後の進行につきましては、滝口会長に
お願いいたします。よろしくお願いいたします。

2. 報 告

○滝口会長 皆さん、こんばんは。北海道大学の滝口でございます。

進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第のとおり進めさせていただきたいと思っております。

まず、報告事項として、（仮称）動物愛護センターの概要について、事務局から説明を
お願いいたします。

○事務局（相馬係員） 動物管理センターの相馬と申します。今日は、よろしくお願いいたします。

では、現在進行中の（仮称）動物愛護センターの整備状況につきまして、私からご報告
いたします。

報告いたしますのは概要ですが、以前、皆様にご説明したことも含まれますけれども、
今日は最近の状況も含めてご説明差し上げます。

そもそも、この事業は何なのかということですが、現在、我々が働いております動物管
理センターが整備されたときは、殺処分も頻繁に行っていたり、あまり動物を長期収容す
るような施設構造になっておりました。業務の目的として公衆衛生の維持が最優先
だったのですけれども、近年の動物愛護管理法の改正で、自治体も動物愛護に関して普及
啓発をすべきであると明確化されてきたので、動物管理センターが持っている機能と自治
体の機能として求められていることが乖離してきて、もっと多くのことを求められるよう
になってきたということが背景にあります。そこで、動物愛護施策を推進する基幹施設で
ある（仮称）動物愛護センターを新築整備しようという事業を行っております。

この事業は、平成30年に策定されました札幌市の動物愛護管理推進計画に基づいて行
っております。

ハード面、建物を整備することによって、以下の機能強化が主な要素です。

一つは、動物愛護の普及啓発や教育ということで、取り締まったりするだけではなくて、
動物を適切に飼うためには何が必要かという教育機能と、収容動物の健康維持、譲渡対象
となる動物、収容された動物について、できる限り健康な状態を維持して新しい患者さん
につなぐ機能を担えるようにということで整備を行っております。

施設の場合は、現在、動物管理センター八軒本社があるところの本当にすぐ近くの中央
区北22条西15丁目で、中央区と西区と北区の境目にあります。

構造は、木造としております。

敷地面積は約2,000平方メートル、延べ床面積が約1,000平方メートルです。

何と言っても、従来の殺処分という暗いイメージを払拭する温もりのある雰囲気施設の

ということを意識して設計されております。

1階の平面図がこちらです。

エントランスから入りまして、右に曲がると事務室があり、ここで「動物を見たいです」と言って、係員に案内されて、動物収容ゾーンに入ります。

猫収容室が1、2、3とあって、子猫を入れる部屋が4、ちょっと出っ張っているのはプレイルームです。

こちらに行くと犬収容室があって、大きい犬舎や、小型のケージを置けるようなスペースがあります。屋外には少し広めの運動場があったり、屋内運動場があったりします。処置室やトリミング室も整備しております。

2階は、先ほど言った教育機能、普及啓発機能の要となる多目的ホールがあります。

また、動物のことなので、込み入った話もありますから、1階と2階それぞれに相談室を設けています。個室でゆっくり相談したり職員と話をするという機能を持っています。この場合によっては、ボランティアさんの控室という使い方もできるようになると思います。

もう一つ事務室がありまして、お客様対応用の事務室と事務仕事の事務室という感じですよ。

ポイントの一つ目は、普及啓発の拠点となるということです。先ほど言ったように多目的ホールを整備したり、現在、センター内で明るいイベントをすることがあまりないのですけれども、しつけ教室をしたり、団体さんと共同して譲渡会を開いたりということで、屋内運動場を使用できればいいなと思っております。また、健康な猫が遊んでいる姿を来庁者が見られるということで、プレイルームを整備しております。

そして、収容動物の健康維持ということで、処置検査室を少し広くして、ハード面とはちょっと違うのですが、動物の治療を積極的に行えるような体制を整備したいと考えております。

また、レントゲン室があります。レントゲンは、鉛のある部屋でなければ、ぱっと用意できるようなものではないのですが、レントゲンを入れられるレントゲン室を要しております。

それから、今のセンターだと、感染症が疑われるような動物を隔離するための専用の部屋がなかったり、元気がなくてほかの動物たちと分けてストレスを軽減させることがなかなかできないのですけれども、そういう子たちを静かな場所に隔離することもできるように隔離室も整備しております。

また、動物の話とは離れてしまうのですが、環境に優しい施設を目指しております。ZEB readyという言葉はあまり聞きなじみがないと思うのですが、ゼロエナジー・ビルディングの略でございまして、いろいろとレベルがあるのですが、50%以上エネルギーを節約した建築物をZEB readyと言いまして、我々札幌市が発注した建造物の中で初のものになります。環境に優しいだけでなく、動物にあまり興味のない

い方でも、分野が違ふと興味を持たれるということで、こういった方向からも新しい施設ができたよということを前向きにアピールできたらと考えております。

一昨年から基本設計、実施設計というふうに進んでおりまして、昨年着工しまして、現在、工事中でございます。

そして、10月中旬くらいに完成しますが、完成したらそれで終わりではなくて、ちゃんと完成しているかどうかの工事部局の検査があって、その後、我々の下に引き渡しが行われます。引き渡された後は、動物たちを引っ越したり、我々が使う事務用品を引っ越したりというセンターの引っ越し作業があります。

そして、11月中旬頃に供用開始を予定しておりまして、ここでオープニングセレモニーを予定しております。

オープニングセレモニーのメニューの中には、今日、皆さんに決めていただく愛称考案者の表彰も予定しておりますので、そういったことも考えながらご検討いただけると幸いです。

供用開始となった後は、ハード面が整備できたので、いよいよソフト面も踏まえてやっていこうということで、各種教育プログラムを開始します。

なお、今の八軒本所は解体予定でございます。この後は新センターと直接関係がなくなってきてしまうのですけれども、いろいろ片づけてから土地の権利等を整理して事業が完了ということになります。

こちらが工事写真です。

令和3年7月ぐらいのボーリングの状況で、コンクリートに穴を開けて土を掘って、どんな地質かということ調べている写真です。

これは、去年10月の工事開始のときの写真で、だだっ広い敷地にいよいよ建つのだという感じです。

去年、令和4年12月に工事業者が入ってきまして、今年の春先には楕円形の構造物の片りんが見え隠れしてきております。

今年の春になりますと、木造なので、木材がどんどん入ってきて、だんだんと形ができてきております。

現在もどんどん進んでおりますので、お時間があれば、ぜひ工事現場を見に来ていただけたら幸いです。建造中の工事現場を見る機会はなかなかないと思うので、こんなものできるかというふうにご覧いただければと思います。

現在、このような完成図を目指して工事を鋭意進めておりますので、ご期待ください。

ご報告は以上となります。

○滝口会長 ありがとうございます。

ただいま、事務局からご説明をいただきましたけれども、委員の皆様からご意見、ご質問はございますか。

○鳥越委員 猫の収容は最大何匹くらいできる予定でしょうか。

○事務局（相馬係員） 猫収容室4室に2段ケージを置く予定ですが、今考えているケージだと大人の猫で56匹くらい、子猫が30匹くらいです。

ただ、これはあくまでも最大頭数で、最大頭数を入れるのは好ましくないのですが、キャパシティーとしてはそのくらいを予定しております。

○鳥越委員 福移支所のほうはどうなるのですか。

○事務局（相馬係員） 今後、福移支所は、動物収容機能はなくなりまして、職員が常駐する施設ではなくなりますが、市民のペットの火葬をする事業を行っており、その火葬炉がありますから、建物としては残ります。火葬機能と災害に備えた備蓄機能を残します。

○鳥越委員 今回、100頭の多頭飼育崩壊がありまして、前には200頭というものもありましたけれども、そういうことが発生したときにはどうする予定なのでしょうか。

○事務局（相馬係員） 福移支所を積極的に使いたいと、今、この場で断言することはできないのですが、やはり、動物管理センターが直接所管している建物なので、有効活用をしていきたいと個人的には思っております。

現在、猫など、たくさんの動物が入ってきた場合は、犬のためのスペースにネットを張って転用できるように対応しております。今回のセンターも、万が一のときのために犬収容室にネットを張れるように設計しています。そういう設備があるので、健全に維持できる収容頭数は56匹ですが、緊急事態になった場合はもう少しは入れるようになる予定です。ただ、そういう収容状況は健全ではないと思いますので、そうならないようにしたいというのが本音です。

○滝口会長 ほかにいかがですか。

（「なし」と発言する者あり）

3. 議 事

○滝口会長 では、続きまして、議事に入りまして、(仮称)動物愛護センターの愛称選定について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（川名管理係長） 私は、今年度から動物管理センターの管理係長をしています川名と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。

(仮称)動物愛護センターの愛称選定についてご説明いたします。

まず、愛称を決める前に、センターの正式名称についてお知らせしますが、正式名称は札幌市動物愛護管理センターといたします。これは、動物愛護に向けた取組はもちろん、不適正な飼育などについてはきちんと指導していく必要がありますので、そのための拠点となる施設ということで、このような名称に決定しております。

本日は、このセンターの愛称を皆様方に決めていただきたいと思いますと考えております。

愛称公募についてです。

これは、愛称を幅広く募集したいという思いだけではなく、動物愛護管理センターという施設ができるのだということを少しでも多くの市民に知ってもらいまして、動物愛護に

関心を持ってもらいたいという思いで公募を実施しました。

募集の周知としましては、広報さっぽろ、ホームページ、ツイッター、市内の全小中学校、本日お越しいただいている協議会の委員の皆様や愛護団体の皆様、推進委員の皆様などにもご協力いただいたところでございます。

募集方法としては、ホームページの応募フォームや、応募用紙を郵送や持参で提出された方もいらっしゃいました。

募集期間は、6月1日からの1か月間としておりました。

我々も、なるべく幅広く新センターを知っていただきたいという思いで皆様にメールでご連絡差し上げましたところ、委員の中にも、所属している団体のホームページなどで愛称公募を紹介していただけたというのを拝見しまして、非常にうれしく思いました。この場を借りてお礼申し上げます。

そういったかきもありまして、愛称公募につきましては、6月2日のネットニュースや6月17日の道新の朝刊などでもご紹介していただくことができまして、多くの市民の目に留まったと思っております。

改めまして、本当にありがとうございました。

これが愛称公募の募集要項です。

もちろん、募集に関しても載せましたし、新センターの内部構造も簡単にご紹介した募集要項をつくって公募したところでございます。

応募結果ですけれども、総数471件の応募をいただいております。ホームページからの応募が442件で、郵送及び持参が29件となっております。

世代では、50代の方が最も多く、次に40代、60代となっておりますが、10代以下の方にも51人に応募をいただいたところでございます。

結果として、本当に幅広い年齢層の方に参加していただきまして、動物、犬や猫にとって幸せな施設、いい施設になってほしいという気持ちが伝わってくる作品ばかりでございました。

本日の愛称選定については、いただきました471作品の中から我々で10作品に絞っております。その絞り方ですけれども、審査の視点としまして、新センターのイメージにふさわしい愛称となっているか、覚えやすく親しみの持てる愛称となっているかという視点から判断いたしました。

まずは、動物管理センターの中で選定を行いました。

上の視点に加えて、例えば、旭川市のあにまあるとか、福岡のあにまるぽーとか、同じような名前になってしまうのもまずいので、ほかの施設等で使用されていないかというところを見ました。それから、犬だけでなく、猫だけでなく、動物愛護管理センターであるということが伝わるかということも考えました。また、愛称が決まった暁には、我々職員が電話対応をする際にはその愛称で出たいという思いがありますので、それを言うには恥ずかしいような名前も除かしていただきまして、13作品を選定したところでご

ざいます。

その後、動物管理センターを所管している生活衛生担当部内において吉津以下で話し合いをしまして、本日お諮りします10作品を選定したところでございます。

委員の皆様のお手元にもお配りしていますが、この10作品が最終候補となっております。この中から選んでいただければ幸いです。

以上、愛称公募についてご説明させていただきました。

○滝口会長 ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありました愛称の公募、愛称の活用、愛称の選定方法などについて、皆様からご意見、ご質問はございますでしょうか。

○古屋委員 先ほどからグラフを見ていまして、応募結果は総数471件ですが、50代にピークがあって、きれいな正規分布になっています。私は10代くらいにピークがあると思っていたのですが、50代が多いということで、もちろん全年代から漏れなく応募はありますが、その辺をどのようにお考えでしょうか。

○事務局（相馬係員） おっしゃるとおり、ピークが50代にきておりまして、若干、左に裾が広いですが、よい感じの正規分布になっているように見えます。私たちは、子どもたちにも投票していただきたいと思ひまして、平仮名や平易な言葉を使った子ども用の募集要項もつくっておりました。その結果がこうだったので、やはり動物管理センター、動物愛護センターはちびっ子にあまり根づいていないのだろうという感想を持っています。これは私の憶測ですが、動物園だと、こういう分布にはならないのだろうと思っています。ある意味、動物管理センター、動物管理センターという動物愛護行政に関心のある年齢層とニアリーイコールという認識であります。

ですから、若い世代にもっと知っていただきたいというのが率直な思いです。

○滝口会長 ほかにご意見、ご質問はございませんか。

（「なし」と発言する者あり）

○滝口会長 それでは、投票に移りたいと思います。

事務局からお願いします。

○事務局（川名管理係長） それでは、1次投票に移りたいと思います。

ここでは、10作品の中から3作品を選びたいと思っています。

投票方法につきましては、こちらに記載のとおり、10作品全てに1点から10点を振り分けていただきたいと思っております。同じ点数はなしでお願いします。皆様からいただきました点数を合計しまして、点数の高い順に3作品を最終選考の形で残させていただきます。

注意点ですが、本日、作品の中では「さっぽろ（札幌）」とついていないものもあるのですが、我々としては何とか「さっぽろ（札幌）」をつけたいという思いです。ですから、「さっぽろ」とついていない作品が最終候補に選ばれた場合は、漢字の「札幌」をつけるか、平仮名の「さっぽろ」をつけるか、いずれの表記にするかということをお諮り

いただきたいと考えております。現段階におきましては、「さっぽろ（札幌）」がついている、ついていないということをおまわり考えずに選んでいただければと思います。

次に、お手元にお配りしているこちらが1次投票用紙になります。

左に候補のナンバーを書いていますけれども、これは五十音順に並べた番号ですので、気になさらなくて結構です。

こちらの1次投票用紙に1から10点まで振り分けていただきまして、事務局までご提出いただければと思います。

既にご自宅等で考えてこられた方がいましたら、持ってきていただいて構いません。

それでは、お考えいただく時間を5分設けたいと思いますので、これからお考えいただければと思います。何かご不明な点があれば、併せてお尋ねいただければと思います。

それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（相馬係員） 皆様には真剣に考えていただきたいのですが、気楽な面も持ち合わせてお考えください。楽しい雰囲気決めていただけたらと思います。

できましたら手を挙げていただきまして、事務局が回収いたしますので、よろしくお願いいたします。

○鳥越委員 当選した方を表彰するということですが、同じ名前の応募が何人もいる場合はみんなもらえるのですか。

○事務局（相馬係員） 募集要項上は代表者1名と書いてはいるのですが、このくらいだったら皆さんに声をかけてもいいかなと考えています。

○鳥越委員 代表者はどのように選ぶのでしょうか。

○事務局（川名管理係長） 特段、賞金をあげるわけではないので、皆さんにお声かけしてもいいのかなと思っております。

○鳥越委員 表彰状みたいなものですか。

○事務局（川名管理係長） そういうものをお考えしております。

○鳥越委員 今、ほかのものは見られないのですか。

○事務局（川名管理係長） お待ちいただく時間が必要になります。

印刷したら、本当に分厚くなってしまいます。

○事務局（相馬係員） 今日、会議が終わった後に閲覧する時間を設けることはできます。一応、持ってきてはいます。

○事務局（川名管理係長） にゃんきちほっこりセンターとか、わんだふる・にゃんだふるとか、本当に楽しい愛称を考えていただいています、我々も楽しかったです。

[各委員、1次投票用紙に点数を記入]

○事務局（川名管理係長） 今、点数を合計しましたので、表示させていただきます。このようになりました。

一番点数を取ったのは、83点のあいまるです。

2番目は、68点のあにふえです。

3番目は、片仮名のアイマル札幌となっております。

この3点を最終選考の対象作品にしたいと思います。

今、分かりやすくしますので、少々お待ちください。

続いて、最終投票の説明をさせていただきます。

お手元の資料をご覧くださいと思います。

最終投票では、3作品から1作品を選んでいただきます。

半数以上の投票を集めたものを内定作品としまして、投票数の多い順に1位、2位、3位としたいと思います。

もし半数以上の投票が集まる愛称がなかった場合は、上位2作品で決戦投票をしまして、多くの投票を集めた作品を1位としたいと思っております。

それでは、1作品だけ書けるようになっている最終投票用紙に、お気に入りの愛称をご記入いただければと思います。

あいまる、アイマル札幌、あにふえの3点の中から1作品をご記入いただければと思います。

○事務局（相馬係員） 最初にご説明したとおり、「さっぽろ（札幌）」がついていない1番のあいまるか5番のあにふえになった場合は、「さっぽろ（札幌）」をつけます。平仮名表記にするか、漢字表記にするかは後ほど決めますけれども、そういう前提でお考えください。あにふえ単独になるということはありませんので、よろしく願いいたします。

[各委員、最終投票用紙に候補を記入]

○事務局（川名管理係長） 非常に僅差なのですが、最終投票の結果はこちらになります。

あいまるが5票、あにふえが4票という結果になっております。

○滝口会長 ありがとうございます。

先ほど、事務局から、最終的な愛称は「さっぽろ（札幌）」をつけるという話がありました。今選ばれましたのはあいまるとあにふえですので、そこに「さっぽろ（札幌）」をつけることになります。

ただ、平仮名か、漢字かということはこの場で決めることになりますので、ここは挙手でお願いしたいと思います。

まず、平仮名がいいという方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○滝口会長 6名ですね。

それでは、漢字がいいという方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○滝口委員 3名ですね。

それでは、平仮名の「さっぼろ」をつけるということになります。

○事務局（川名管理係長） それでは、あいまるについては、平仮名の「さっぼろ」をつけたいと思います。

また、権利の関係がある場合もありますので、あにふえについても確認いただいでよろしいでしょうか。

○滝口会長 それでは、あにふえの後の「さっぼろ（札幌）」について、平仮名がいいという方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○滝口会長 6名ですね。

漢字がいいという方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○滝口委員 3名ですね。

○鳥越委員 質問ですが、4番のあにくす・さっぼろのように、点が入ったり、入らなかったりということはあるのでしょうか。

○事務局（川名管理係長） 今のところ、点を入れることは考えていませんでした。

あいまるもあにふえもそうですが、それだけだとこのセンターから分からないと思われましたので、「さっぼろ（札幌）」を後につけたいと思っていたところです。

もし皆さんの中で、点があったほうがいいのではないかというご意見があれば、考慮することは可能かと思えます。

今のところは、1番があいまるさっぼろ、2番があにふえさっぼろという順位となっております。

○滝口会長 今、鳥越委員からご意見が出ましたけれども、個人的には「札幌」だと点の余地は全くないと思いますが、確かに平仮名ですと考える余地はあると思えます。

皆さんに意見を言っていただけるとありがたいです。

○今井委員 やはり、あいまるも、あにふえも、間に中点があったほうが、ぱっと見で目が留まります。また、先ほどお話がありましたように、お子様にも馴染んでいただきたい名前ですので、中点があったほうがよろしいと思えます。

○滝口会長 ありがとうございます。

あにふえについても点があったほうがいいというご意見でしたが、ほかにいかがでしょうか。

○事務局（千葉動物管理センター所長） 事務局から口を挟んでしまって申し訳ないですが、例えば、点でも構いませんし、半角スペース、全角スペースでも構いませんので、間に星を入れたほうがいいのではないかとか、こうしたらというアイデアがあれば頂戴いただけるとありがたいです。

○事務局（相馬係員） 発音ではなく、表記の話なので、こういうふうに投影してみても分

かるものもあると思います。パソコンで表示できる文字であれば入れてみますので、思いつきでもお気軽に発言してください。

○鳥越委員 ハートを入れてみてもらえますか。

○事務局（川名管理係長） それでは、一旦、表示を全てあいまるにして、間に入れるものを三つくらい示したいと思います。

○前谷副会長 @はどうでしょうか。

○事務局（千葉動物管理センター所長） 4番目をつくって、「あいまる@さっぼろ」を表示してください。

○滝口会長 メールアドレスみたいですね。

○事務局（川名管理係長） ほかにご希望がありましたらおっしゃってください。

○今井委員 可能であれば、絵文字で、ワンちゃんと猫ちゃんをアレンジしたようなものを入れられないでしょうか。

これは、ホームページにもそういう形で出て、札幌市動物愛護管理センターと並べる形になるのですね。ですから、動物に絡むような絵文字は入れられないでしょうか。

○事務局（相馬係員） 今のところ、今回の協議会ではデザインを決めるものではないとお考えください。どのようなデザインにするかは、供用開始、もしくはそれ以降になってしまうかもしれませんが、別の話とお考えいただけたらと思います。

○事務局（川名管理係長） 建物の横に掲示することを考えているのですけれども、そこに、あいまるさっぼろだったとして、前後にちょっとした犬や猫の施設だよということが分かるイラストを入れることは可能かと思っております。ですから、あいまるさっぼろの愛称の間に何かを入れなくても、そういうイメージが伝わるようにすることが可能かと思えます。

○事務局（相馬係員） これも事務局から口を挟んで申し訳ないのですが、ハートマークは、環境依存文字になってしまうので、きれいに出力されるかどうかははっきりしなないです。そういう理由で、ハートマークはやめようかと思えます。申し訳ございません。

○鳥越委員 残念です。

○滝口会長 1番は半角が入っていますよね。

○事務局（相馬係員） はい。1番目は半角のスペースが入っています。全角にすると、こんな感じです。

○滝口会長 それだと、ちょっと空き過ぎですね。半角のほうがいいですね。

これは、挙手で行きますか。

○事務局（相馬係員） 決定方法は会長に決めていただこうと思えます。

表記ですので、デザインが絡まないものでどうするかをイメージしてください。新聞やお手紙に載るイメージです。よろしく願いいたします。

○滝口会長 それでは、あいまる さっぼろ、あいまる・さっぼろ、あいまる@さっぼろの三つのうちから一つを選んでいただくということによろしいですか。

○事務局（川名管理係長） よろしければ、決選投票用の用紙がありますので、それをご活用いただければと思います。

三つのうちのどれかをご記載いただきまして、事務局に提出いただければと思います。

なお、どうしてもあいまるがまずいということになった場合は、あにふえが次の候補となりますので、それも同様の表記とさせていただきたいと思います。

〔各委員、決戦投票用紙に候補を記入〕

○事務局（川名管理係長） それでは、結果を発表いたします。

あいまる さっぼろが5票、あいまる・さっぼろが4票となりましたので、あいまる、あにふえになった場合につきましては、半角スペースを空けて「さっぼろ」を入れる形にしたいと思います。

先ほどからお伝えしておりますけれども、ご要望いただきましたデザインも加えながら考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○滝口会長 ありがとうございます。

それでは、あいまる さっぼろといたしますが、権利の関係で問題があれば、あにふえ さっぼろと決定してよろしいですか。

（「異議なし」と発言する者あり）

○滝口会長 それでは、本結果を最終決定としたいと思います。

以上で予定していた議事は全て終了となりますけれども、最後に皆さんからご意見、ご質問等はございますでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○滝口会長 それでは、事務局にお返ししたいと思います。

4. 閉 会

○事務局（千葉動物管理センター所長） ありがとうございます。

滝口会長をはじめ、委員の皆様にご協議いただきまして、愛称につきましては、あいまる さっぼろ、2番目として、あにふえ さっぼろということで決めていただきました。

この名前につきましては、10月頃になりますが、札幌市長の記者会見で公表いたします。正式名称である札幌市動物愛護管理センターという正式名称も、まだ対外的には一切オープンにしておりません。一応、こう決まってはいるのですけれども、ずっと仮称)動物愛護管理センターということでお話をしていました。内々の話になりますが、札幌市動物愛護管理センターということで正式名称になることは決まっております。それに加えまして、今回、あいまる さっぼろ、もしくは、あにふえ さっぼろということで決まりました。

本当にありがとうございました。

旭川の動物愛護センターは有名になってしまいましたが、それに負けず劣らず、皆さんに愛されるような施設にしたいと考えております。

先ほども施設建築の進捗状況のお話の中でもさせていただきましたけれども、新センターオープンに向けて、ハード部分は非常に順調に進んでいるところです。ただ、立派な建物ができて、その中で実際に何をするかということがすごく大事になってくると思います。建物建設と同時進行で、ソフト事業についてもこれからどうするのかということについて、私どもで一生懸命検討しているところです。

先ほどからお話をしておりますとおり、秋頃にはオープニングセレモニー等も予定しておりますので、これからいろいろなことがどんどん決まってくると思いますが、もし何かございましたら、皆さんのご意見等を機会あるごとに頂戴できればと思っておりますので、引き続きご協力のほどをよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和5年度第1回動物愛護管理推進協議会を終了いたします。

本日は、本当にどうもありがとうございました。

以 上